

平成 26 年度 酒田市役所環境保全実行計画年次報告書

■酒田市役所の取り組み

市役所では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、市役所の事務及び事業に関し、温室効果ガスの排出量の削減のための取り組みを行い、地球温暖化対策を推進しています。

平成 25 年 2 月には、これまでの取り組みの成果等を踏まえ、「第 2 期酒田市役所環境保全実行計画」を策定しました。この計画に基づき、市役所自らが行う全ての業務に伴って排出する温室効果ガスの量を、平成 29 年度までに、基準年度の平成 23 年度と比較して 5%削減することを目標に、さらなる温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組みを行っています。

■市役所の温室効果ガス排出量

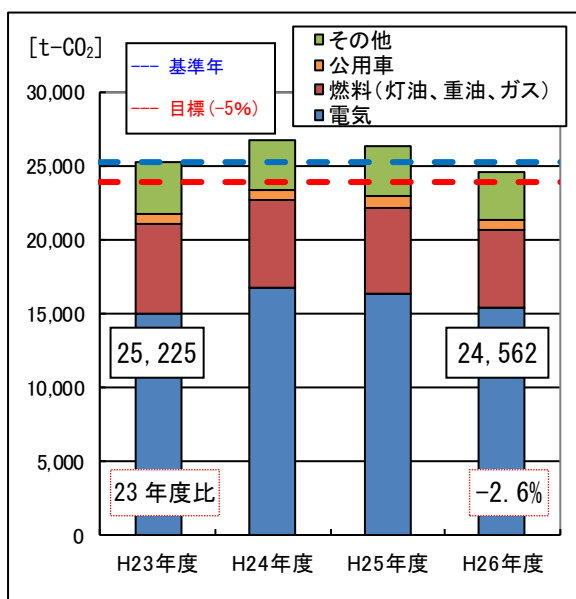
平成 26 年度は、原子力発電所の停止等の影響による電力不足への対策のため、引き続き、節電や省エネの取り組みが行われました。また平成 23 年度と比べて冬の平均気温も高く、冬日も少なかったことも影響し、電気や燃料の使用量は減少しました。その結果、温室効果ガス排出量も平成 23 年度と比較して 2.6%減少しました。

なお、平成 23 年度の電気使用に係る排出係数(※1)に固定した場合、平成 23 年度と比較して 5.2%減少となりました。

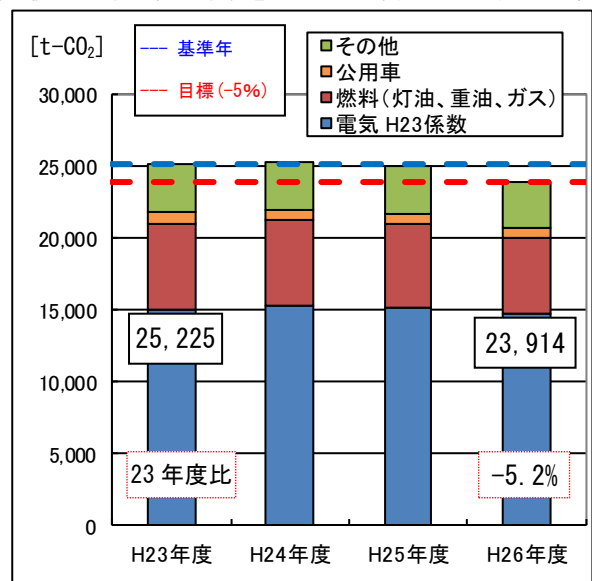
年度	平成 23 年度	平成 26 年度	
温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	25,225	24,562	23,914 (電気使用に係る排出係数を 平成 23 年度の値に固定した場合)
平成 23 年度比		▲2.6%	▲5.2%

(※1) 各電力会社とその年に火力発電所等で石油や石炭などを燃やした時に排出した 1kWh 当たりの二酸化炭素量より算出した係数(kg-CO₂/kWh)。火力発電の割合が大きいと係数は大きくなる。平成 23 年度より平成 26 年度の係数が大きい。

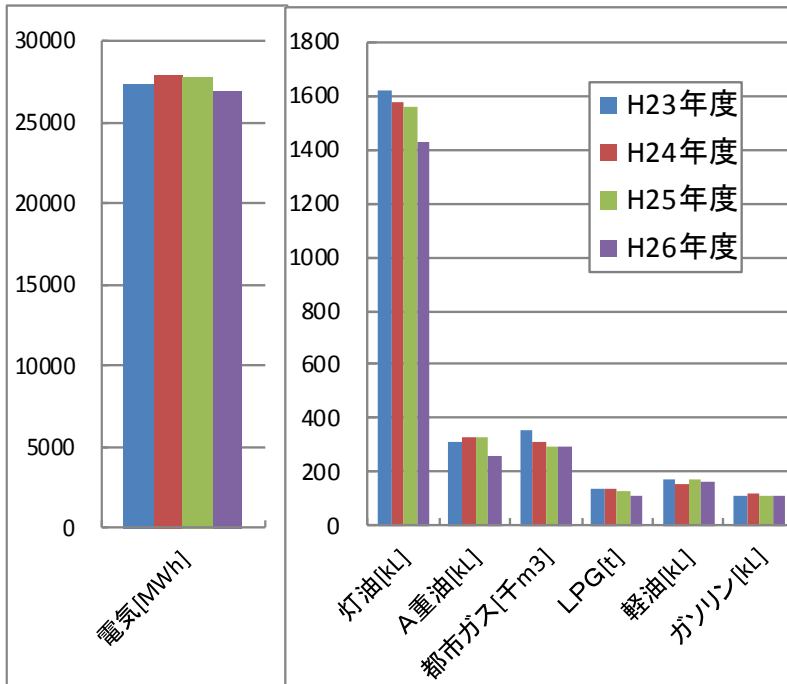
市役所の事務事業からの温室効果ガス排出量の推移



<電気使用に係る排出係数を平成 23 年度の値に固定した場合>



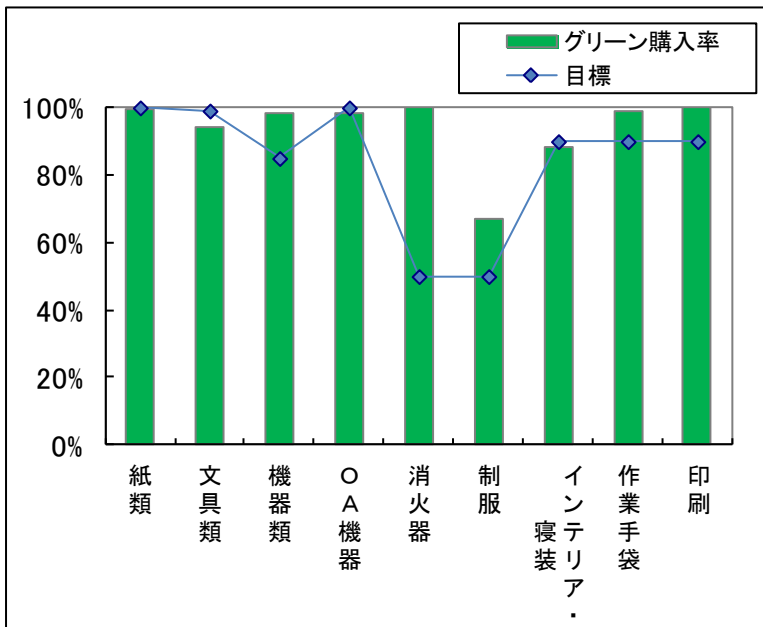
■市役所の燃料使用量



平成 26 年度の市役所の燃料使用量は、平成 23 年度比で電気が 1.6%、灯油が 12%など、すべてにおいて減少しました。

原因としては、平成 23 年度と比べて、冬の平均気温が高く冬日も減少したこと、また職員や施設利用者の省エネの取り組み効果により、暖房費等にかかる燃料使用量の減少が考えられます。

■平成 26 年度のグリーン購入実績



平成 26 年度調達目標を達成した品目は、目標を設定している 11 分野 83 品目中、消しゴム等の文具類 36 品目、パソコン、プリンタなど 10 品目の計 46 品目でした。全体としての成果は、物品購入数ベースでは 99.5% (H25:99.6%)、また購入金額ベースでは 100.0% (H25:98.0%) のグリーン購入率となっております。ほとんどの分野で前年度を上回り、各職場に着実に浸透し、取り組みの成果が表れました。

-平成 26 年度 酒田市環境保全実行計画年次報告書-

<お問い合わせ>

〒998-0104 山形県酒田市広栄町三丁目 133 番地 酒田市市民部環境衛生課

TEL:0234-31-0933/FAX:0234-31-0932/E-mail:kankyo@city.sakata.lg.jp